

令和4年度 予算施策評価表

様式1

施策名	生涯を通じた健康づくりの推進				予算施策コード	hf02	
担当部局名	保健福祉部	健康衛生局	健康増進課	評価責任者	課長 丹 純一	連絡先	2400

1 施策の内容

施策の目標	すべての県民が、「自分の健康は自分でつくる」という意識を持ち、生活習慣の改善に主眼を置いた疾病予防を図ることにより、壮年期の死亡を減少させるとともに、介護に頼らないいわゆる「健康寿命」の延伸を図る。
-------	---

これまでの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 平成13年3月に策定した県民健康づくり計画「健康実現えひめ2010」に基づき、栄養士の資質向上のための事業や食育の推進、8020運動を中心とした歯科関係事業、たばこ対策事業等に取り組んできた。 また、平成20年4月の医療制度改革に対応して平成20年3月に計画を改定し、メタボリックシンドロームに係る新たな関連目標の設定等を行うとともに、新たに医療保険者(市町国保等)に義務付けられた特定健診・保健指導以外の健康相談等の保健事業については健康増進事業として20年度以降も市町が実施することとなったため県は引き続き財政支援を行っている。 また、生活習慣病予防対策のうち、がん予防・検診対策については、がん検診等の精度管理のための協議会の設置運営により、効果的ながん予防対策の推進に努めている。 平成24年度は、「健康実現えひめ2010」が計画終期を迎えたことから、平成24年7月に示された国の新しい国民健康づくり運動の基本方針も踏まえ、第1次計画の最終評価から得られた成果と課題を基に、一層充実、発展させた第2次県民健康づくり計画「えひめ健康づくり21」を平成25年3月に策定した。
-----------	--

成果指標名(目標の達成度合いを示す指標)

A	65歳未満で死亡する人の割合			B	今の健康状態を健康と感じている者の割合						
選択理由	65歳未満の死亡原因の多くは悪性新生物、心疾患、脳血管疾患であり、これらは生活習慣病対策により減少可能であるため。			選択理由	健康状態の評価には、主観的な面と客観的な面があるが、生活の質は主観的な健康状態と深く関係しているため。						
算定方法	65歳未満で死亡する人/全体の死亡者数×100			算定方法	今の健康状態を「健康である、又はどちらかという健康である」と回答した者/調査回答者(県民健康調査で調査)						
成果と指標の関係	強	指標の種類(ストック/フロー)	フロー	指標の種類(プラス/マイナス)	-	成果と指標の関係	強	指標の種類(ストック/フロー)	フロー	指標の種類(プラス/マイナス)	+

指標・事業費・人件費の推移

区分	成果指標A			成果指標B			事業費(予算)				事業費(決算)	人件費
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	予算計	国費	その他	県費		
単位			%			%	千円					
2年度	男性9.0、女性4.2	男性9.7女性4.8	-	82	81.6	99.5%	102,640	36,895	16,947	48,798	26,354	104,875
3年度	男性8.1、女性3.7	男性10.0女性4.9	-	82	81.6	99.5%	150,919	38,253	64,815	47,851	72,014	93,775
4年度	男性7.7、女性3.4	男性9.0女性4.7	-	82	80.8	98.5%	170,776	38,143	77,285	55,348	84,819	94,345

2 施策の評価

県の関与の必要性		説明	健康を実現することは、県民一人ひとりが「自分の健康は自分でつくる」という意識を持ち主体的に取り組むことが基本であり、県は、県民に対する保健サービスの直接の担い手である市町への技術的な支援をはじめ、今後は市町のほか地域や職域の保健関係団体と協働して、県民の健康づくりを全県レベルで支援する環境整備に努める必要がある。 また、医療制度改革により、平成20年度から医療保険者に義務付けられた特定健診等の実施に対する技術的支援に加えて、老人保健法の廃止によって、特定健診に移行した従来の基本健診以外の保健事業やがん検診が、健康増進法に基づく健康増進事業として位置づけられており、生活習慣病対策を中心に県の積極的な関与が必要である。 更に、第2次県民健康づくり計画の策定を機に、県民総ぐるみの健康づくり運動をなお一層充実、発展させ、全ての県民が共に支え合い、健やかで心豊かに生活で						
高い									
成果指標A		説明	65歳未満で死亡する人の割合は、平成10年に男24.0%、女14.3%であったが、平成22年にはそれぞれ18.1%、8.7%と、第1次県民健康づくり計画の「健康実現えひめ2010」の目標値である20.0%以下、10.0%以下を達成しており、第6次長期計画では、H26年度の目標値として、男性16%、女性7%を掲げている。なお、H24年度に策定した第2次県民健康づくり計画においては、単なる生存期間ではなく、介護を必要としないで自立した生活ができる期間である「健康寿命の延伸」を目標に掲げており、65歳未満で死亡する割合について目標値を定めていないが、施策評価においては、長期計画に基づき当面この指標を採用する。 65歳未満の死亡原因の多くは悪性新生物、心疾患、脳血管疾患であり、これら生活習慣病の一次予防に対する県民の意識向上や、健診の受診など二次予防に県民自らが積極的に取り組むよう、周知・啓発することで成果の向上につながるものと考えている。						
成果動向	横這い								
成果向上余地	成果向上が可能								
成果指標B		説明	今の健康状態を健康と感じている者の割合は、ほぼ横ばいとなっており、平成25年3月に策定した第2次県民健康づくり計画においては、現状値を「健康である」「どちらかという健康である」と回答した者の割合(20歳以上、79.8%)とし、計画の目標はそこから増やすこととしており、具体的な数値は掲げていない。 新たな計画策定を機に、より積極的な広報活動に努め、県民に対し直接・間接的な手段を通じて、生活習慣病予防のための、「食事バランス」、「運動」、「禁煙」や「歯の健康づくり」といった身近な生活習慣の改善等について、周知・普及啓発することで成果の向上につながるものと考えている。						
成果動向	横這い								
成果向上余地	成果向上が可能								
参考：構成事務事業の評価の平均値		成果動向	2.08	順調・向上		成果向上余地	1.67	成果向上が可能	

4-1 事務事業管理シート（評価対象事業）

予算施策名

hf02

生涯を通じた健康づくりの推進

1 生活習慣病予防総合支援事業費		指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	2一定の成果向上余地あり															
指標種類1	指標名称1	単位	計画	100	100	100		コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	評価	3成果横ばい	向上余地	2一定の成果向上余地あり															
成果 + 70-	精密検査受診率	%	実績	86.77	R5. 12頃判明	R6. 12頃判明			事業費計	58,806	58,534	58,867					101,681	受診率に大きな変化が見られないため。また、今後も継続して取り組むことで、施策、事業の更なる見直しが期待できるため、一定の成果向上の余地がある。													
			達成率	86.77%	-	-			国費	28,918	28,724	28,942					50,319														
			その他																												
指標種類2	指標名称2	単位	計画	50	50	50			事業費計	40,368	45,670	47,240					見直し方向性		方向1 このまま継続	方向2	方向3										
成果 + 70-	がん検診受診率	%	実績	43.9	43.9	43.9			国費	22,189	22,708	23,413																			
			達成率	87.80%	87.80%	87.80%			その他	3	1	1																			
			県費	29,888	29,810	29,925			51,362																						
指標種類3	指標名称3	単位	計画						事業費計	40,368	45,670	47,240										人役	0.3	0.3	0.3						
			実績						国費	22,189	22,708	23,413																			
			達成率	-	-	-			その他	3	1	1																			
			県費	18,176	22,961	23,826																									
実施期間	S57	S57	S57	事業の概要					人件費	2,030	1,815	1,792																			
				(1)生活習慣病予防協議会の運営 38人、8部会(年1回)																											
				(2)肝炎対策協議会の運営(国1/2、県1/2) 5人(年2回)																											
(3)生活習慣病予防対策講習会の開催 6部会で7講習実施																															

2 県民健康づくり運動推進事業費		指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	1成果向上余地が小さい														
指標種類1	指標名称1	単位	計画	80	80	80		コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	評価	3成果横ばい	向上余地	1成果向上余地が小さい														
成果 + 70-	栄養バランス等に配慮した食生活を送っている者の割合	%	実績	60.9	60.9	63.1			事業費計	3,415	3,546	3,546					5,604	栄養バランス等に配慮した食生活を送っている者の割合については令和4年度に実施した県民健康調査では調査内容から落とすこととなった。また、県民健康づくり運動地域推進会議開催回数については成果向上の余地は少ない。												
			達成率	76.13%	76.13%	78.88%			国費	288	336	336					125													
			その他						1,568																					
指標種類2	指標名称2	単位	計画	6	6	6			事業費計	1,598	2,334	1,949					見直し方向性		方向1 このまま継続	方向2	方向3									
活動 + 70-	県民健康づくり運動地域推進会議開催回数	回	実績	5	4				国費	288	336	336																		
			達成率	83.33%	66.67%	0.00%			その他																					
			県費	3,127	3,210	3,210			3,911																					
指標種類3	指標名称3	単位	計画						事業費計	1,598	2,334	1,949										人役	1.8	1.8	1.8					
			実績						国費	288	336	336																		
			達成率	-	-	-			その他																					
			県費	1,310	1,998	1,613																								
実施期間	H25	H25	H25	事業の概要					人件費	12,179	10,890	10,748																		
				県民総ぐるみの健康づくり運動を推進し、推進会議の運営、地域における健康づくり運動の支援、健康づくり指導者養成のための研修会等を実施するほか、食育を推進するため食育月間・食育の日推進事業を実施。																										

3 歯と口腔の健康づくり推進費		指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	2一定の成果向上余地あり														
指標種類1	指標名称1	単位	計画	65	65	65		コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	評価	3成果横ばい	向上余地	2一定の成果向上余地あり														
成果 + 70-	定期的歯科検診受診率	%	実績	45.5	45.5	54.2			事業費計	11,627	12,757	12,757					11,837	定期的歯科検診受診率については、新型コロナの影響により令和4年度に実施する県民健康調査では調査不能であった。フッ化物洗口事業実施者における12歳児(小学6年生)の1人平均むし歯数については、継続して取り組むことで、むし歯の抑制とともに口腔環境の改善を期待できる。												
			達成率	70.00%	70.00%	83.38%			国費	4,037	5,306	5,306					3,964													
			その他																											
指標種類2	指標名称2	単位	計画	0.7	0.7	0.7			事業費計	5,909	7,342	6,926					見直し方向性		方向1 このまま継続	方向2	方向3									
成果 - 70-	フッ化物洗口事業実施者における12歳児(小学6年生)の1人平均むし歯数	本	実績	R5. 12頃判明	R5. 12頃判明	R5. 12頃判明			国費	2,494	3,269	3,276																		
			達成率	-	-	-			その他																					
			県費	7,590	7,451	7,451			7,873																					
指標種類3	指標名称3	単位	計画						事業費計	5,909	7,342	6,926										人役	5.8	5.8	5.8					
			実績						国費	2,494	3,269	3,276																		
			達成率	-	-	-			その他																					
			県費	3,415	4,073	3,650																								
実施期間	S53	S53	S53	事業の概要					人件費	39,243	35,090	34,632																		
				乳幼児期から高齢期までのライフステージ等を通じて、歯と口腔の健康づくりに継続的に取り組むとともに、全身の健康づくりとの関連を踏まえた施策を実施する。																										

4 ビッグデータ活用県民健康づくり事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり				
指標種類1	指標名称1			単位	計画	平均寿命を上回る健康寿命の延伸	平均寿命を上回る健康寿命の延伸	平均寿命を上回る健康寿命の延伸		事業費計 7,933 国費 0 その他 2,153 県費 5,780	7,933	7,573	7,989	7,953	評価 各指標と短期間での大きな変動は見られない。							
成果	+	70-	健康寿命の延伸	なし	実績	男性71.33歳 女性74.59歳	男性71.50歳 女性74.58歳	男性71.50歳 女性74.58歳	達成率		-	-	-	-								
指標種類2	指標名称2			単位	計画	格差縮小	更なる縮小	更なる縮小			事業費計 4,907 国費 0 その他 2,153 県費 2,754	4,907	5,675	6,565					見直し 方向性 方向1 このまま継続			
成果	0	70-	県内の健康格差	なし	実績	男性1年女性1.6年	男性1年女性1.6年	男性1年女性1.6年	達成率			-	-	-								
指標種類3	指標名称3			単位	計画	男性25.9女性12.5	男性25.9女性12.5	男性25.9女性12.5		事業費計 0 国費 0 その他 0 県費 0	0	0	0	見直し 方向性 方向2 方向3								
成果	-	70-	虚血性心疾患の年齢調整死亡率(人口10万人当たり)	なし	実績	男性21.9女性7.3	男性21.9女性7.3	男性21.9女性7.3	達成率		-	-	-					-				
実施期間	始期	終期	事業の概要							人役	2.2	2.2	2.2	健康寿命の延伸について、既存のビッグデータの指標から、県内市町別等の細やかな指標を算出することで、全県的な健康寿命の延伸対策に繋げる。また、地域課題に応じた疾病予防や健康づくり施策を更に推進させるよう体制を強化する。								
	H30	R5	国保及び協会けんぽ等のビッグデータを活用し、地域特性に応じた疾病予防や健康づくりを推進する。							人件費	14,886	13,310	13,137									

5 スマートヘルスケア推進事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり
指標種類1	指標名称1			単位	計画	70	70	70		事業費計 14,794 国費 0 その他 14,794 県費 0	14,794	62,292	73,289	83,635	評価 医療費抑制効果としては、R4年度について成果が出なかったが、アプリ利用者の満足度や継続率は高く、楽しみながら健康づくりに取り組むというきっかけとはなっている。また、アプリ登録者数は市町と連携した広報活動により大きく増加した。			
成果	+	70-	特定健診受診率	%	実績	43.1	50.4	48.2	達成率		61.57%	72.00%	68.86%					
指標種類2	指標名称2			単位	計画	45	45	45			事業費計 12,645 国費 0 その他 12,645 県費 0	12,645	9,773	14,389				
成果	+	70-	特定保健指導実施率	%	実績	23.7	26.9	27.3	達成率	52.67%		59.78%	60.67%					
指標種類3	指標名称3			単位	計画		5000	6000		事業費計 0 国費 0 その他 0 県費 0	0	0	0	見直し 方向性 方向2 方向3				
活動	+	ストック	健康アプリ登録者数	人	実績	700	2596	6168	達成率		-	51.92%	102.80%					
実施期間	始期	終期	事業の概要							人役	0.9	0.9	0.9	現行事業は国保加入者を対象に令和5年度末までの期間でモデル的に実施しているが、事業効果の検証等を行い、県民全体への波及を検討する。				
	R2	R5	健康寿命の延伸や医療費の適正化のため、健診データ等を活用したスマホ健康アプリの導入により、利用者の健康意識の向上や生活習慣の改善を図る。							人件費	6,090	5,445	5,374					

6 栄養指導業務推進事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	1成果向上余 地が小さい
指標種類1	指標名称1			単位	計画	100	100	100		事業費計 1,630 国費 0 その他 1,630 県費 0	1,630	1,547	1,548	1,419	評価 近年横ばい傾向だが、特定給食施設等に対する個別指導施設数、市町栄養士等業務推進支援事業開催回数ともにコロナの状況が落ち着けば、成果向上の余地が出てくる。			
成果	+	70-	特定給食施設等に対する個別指導施設数	%	実績	88.4	74.8	63.9	達成率		88.40%	74.80%	63.90%					
指標種類2	指標名称2			単位	計画	10	10	10			事業費計 554 国費 0 その他 554 県費 0	554	479	523				
活動	+	70-	市町栄養士等業務推進支援事業開催回数	回	実績	11	6	5	達成率	110.00%		60.00%	50.00%					
指標種類3	指標名称3			単位	計画					事業費計 0 国費 0 その他 0 県費 0	0	0	0	見直し 方向性 方向2 方向3				
					実績				達成率		-	-	-					
実施期間	始期	終期	事業の概要							人役	3.5	3.5	3.5					
	H9	予定・見込があれば記入	特定給食施設等で供する食事や喫食者への個別指導に加え、集団指導や職員への研修を実施するとともに、市町栄養士の資質の向上を目的とした研修会の実施や栄養士法に基づく栄養士免許証の交付、食品表示法や健康増進法に基づく周知・啓発、監視指導等を行う。							人件費	23,681	21,175	20,899					

